

原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第888回）  
中国電力株式会社に関する指摘内容

令和2年8月21日  
原子力規制庁  
新基準適合性審査チーム

【津波による損傷の防止】

（1）防波壁の構造についての設計方針

- 鋼管杭式逆T擁壁のグラウンドアンカーについて、逆T擁壁及び改良地盤の滑動・転倒を抑止する役割に対し、その評価が成立することの見通しを説明すること。
- 波返重力擁壁の既設ケーソンの対策について、中詰材改良による補強方法の成立性を説明すること。また、中詰材の改良範囲及び仕様について、設定方法の考え方を説明すること。
- 波返重力擁壁のケーソンの評価断面について、構造成立性評価では「地盤改良部」を代表として選定しているが、構造が異なる「輪谷部」についてもケーソンの設計が成立する見通しを説明すること。

（2）防波壁の構造についての構造成立性

- 波返重力擁壁の構造成立性検討における解析条件について、荷重の載荷方法（2次元動的FEM解析結果から地震時荷重を算出し、その荷重を3次元静的FEM解析に載荷する方法等）及びケーソンと中詰材の相互作用を評価するための解析上の配慮事項を具体的に説明すること。
- 多重鋼管杭式擁壁の構造成立性検討について、根入れ部周辺の岩盤のせん断破壊領域と引張破壊領域の評価を示し、水平抵抗力に対して同領域が及ぼす影響を考慮した設計方針を説明すること。

以上